

EA993BV-10 門型油圧プレス (手動式) 取扱説明書

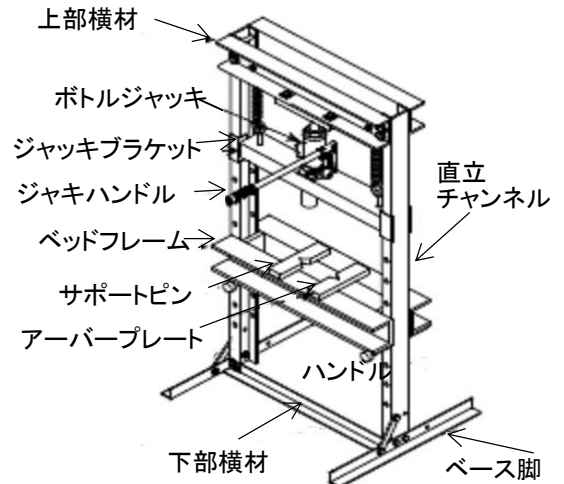
Ver.1.0

この度は当商品をお買い上げ頂き誠に有難うございます。
ご使用に際しましては、取扱説明書をよくお読み頂きます様お願い致します。

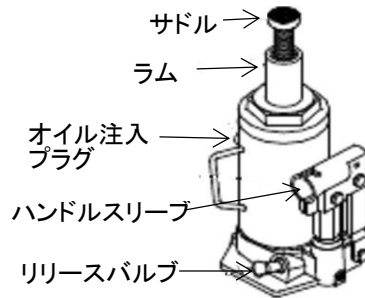
●特徴

- ・ギア、ユニバーサルジョイント、プーリー、リストピン、その他の様々なプレス作業の取り外しまたは取り付けに最適です。
- ・曲げ、接着、または矯正用途に最適
- ・重鋼溶接構造
- ・作業高さ調整用のマルチポジションベッド

(各部名称)



(ボトルジャッキ 各部名称)



(A)

●仕様

- ・能力…12t
- ・サイズ…
580×470×1500mm
- ・油圧ストローク…152mm
- ・プレス部径…35mm
- ・重量…58kg



使用上の注意と安全について

- ・この取扱説明書を十分に理解したうえでご使用ください。
- ・圧力をチェックする時は、常に適切な定格の校正されたデジタルインジケータ付きロードセルを使用して下さい。
- ・定格容量を超えないで下さい。
- ・このプレスは硬くて平らな面でのみ使用して下さい。
- ・このプレスを使用、または近くで作業する時は、常に安全ゴーグルを着用して下さい。
- ・手、足、および他の全ての身体部分を負荷エリアに近づけないで下さい。
- ・加圧したままでプレスを放置しないで下さい。
- ・飛び跳ねる危険！ ワークピースとすべてのアタッチメントが中央に積み、飛び跳ねから保護するためにワークピースの周りに安全シールドが取り付けられている事を確認して下さい。
- ・飛び跳ねから保護するために、シールドを設置する以外にこのプレスを修正しないで下さい。
- ・使用時に起こりうる危険性をよく認識したうえでご使用ください。
- ・これらの注意を守らないと、人身傷害や物的損害が発生する可能性があります。

◆使用前に

1. 製品と使用に適合していることを確認して下さい。
2. この製品を使用する前に、取扱説明書を完全に読んで、製品、その構成部品、およびその使用を理解し危険性を認識して下さい。
3. ボトルジャッキの基本操作に慣れるには、ハンドルの刻んだ側(またはスタンプ)を使用して下さい。
ハンドルの端は、リリースバルブと結合して回します：
a: ハンドルをしっかりした抵抗が感じられるまで、**時計回り**に回します。これは、リリースバルブの「閉」位置でラムを伸長する為に使います。
b: ハンドルを**反時計回り**に閉位置から1回転以内回すと、これはリリースバルブの「開」位置で、ラムを短縮する為に使います。
4. ラムが完全に引き込まれ、リリースバルブが閉じられた状態で、操作ハンドルをポンプします。すぐにラムが反応すれば、プレスを使用する準備ができています。ラムが反応しない時は、排出/通気の指示に従って下さい。
5. 使用前にポンピングして作動させて延長ネジが簡単に上下することを確認して下さい。摩耗または損傷した部品は純正部品と交換して下さい。

◆油圧内のエア抜き

リリースバルブを開放の位置(上記A)にして、ラムを完全に下げた状態で、オイルフィルタープラグを取外します。次にハンドルをハンドルスリーブに挿入し、6~8回のフルストロークでポンプします。これは、リザーバ内に閉じ込められている可能性のある空気を放出するのに役立ちます。オイルレベルは、オイル注入口の底と同じでなければなりません。オイルフィルタープラグを再び取り付けます。

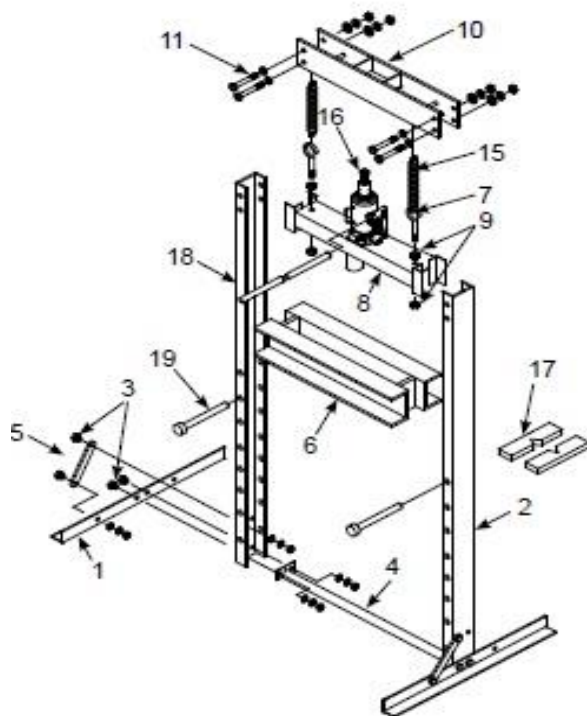
◆組み立て方法(次ページ部品図を参照)

⚠ **注意:** 指示がない限り、ボルトを締めないで下さい。

1. ボルト、平ワッシャー、ロックワッシャー、およびナット(3)を使用して、ベース脚(1)および下部横材(4)を直立チャンネル(2)に取り付けます。(手締めのみ)
2. ボルト、平ワッシャー、ロックワッシャー、ナット(3)を使用して、サポートリンク(5)をベース(1)と直立チャンネル(2)に取り付けます。
3. ベッドフレーム(6)を垂直チャンネル(2)の間の可能な限り低い位置まで慎重にスライドさせます。
4. 図3に示すように、ネジフック(7)をナット(9)でジャックブラケット(8)に取り付けます、バネを簡単に取り付ける為にナットを締めないで下さい。
5. ジャックブラケット(8)を直立チャンネル(2)の間にベッドフレーム(6)にスライドさせます。
6. ボルト、平ワッシャー、ロックワッシャー、ナット(11)を使用して、上部クロスメンバー(10)を直立チャンネル(2)に取り付けます。
7. スプリング(15)の一端を上部クロスメンバ(10)の軸に取り付け、他端をジャックブラケットのネジフック(7)に取り付けます。
8. ボトルジャッキ(16)を上部横材(10)のヘッドプレートとジャッキブラケット(8)の間に慎重に置き、ジャッキ(7)を保持しているナット(9)を締めて、ジャッキが不注意に脱落しないようにします。
9. 該当する全てのナットおよびボルトを締めます。
10. ベッドフレーム(6)を慎重に持ち上げ、ピン(9)で固定します。
11. ベッドフレーム(6)にアーバープレート(17)を置きます。
12. これで、プレスを使用する準備が整いました。ボトルジャッキのハンドルスリーブにハンドル(No.18)を挿入することを忘れないで下さい。

(組み立て部品図)

Size of Hardware Kits			Qty
3	bolt	M10x25	8
	flat washer	M10	8
	lock washer	M10	8
	nut	M10	8
9	nut	M8	4
11	bolt	M16x120	4
	flat washer	M16	8
	lock washer	M16	4
	nut	M16	4



◆操作

- ・飛び跳ねる危険があります。認定されたの保護めがねを着用して下さい。
- ・加圧作業中、プレスの前に立ち入らないで下さい。
- ・ワークピースが中央にロードされ、固定されていることを確認して下さい。すべての操作指示に従い、破片が飛びリスクを減らして下さい。
- ・挟まれる危険があります。常にベッドエリアから手と足を離して下さい。

1. サポートピンを希望する高さに挿入しベッドを下げます。ベッドフレームがサポートピンに完全に載っていることを確認して下さい。
2. 必要に応じて、ベッドフレームにアーバープレートを置きます。
3. 安全を確保し、物的損傷を防ぐために必要なあらゆる予防措置を講じて、ベッドフレームにワークを置きます。誤ってベッドから落さないようにワークを配置して下さい。
4. ジャッキハンドルの切り欠き(または刻印)端で、しっかりと締まるまでリリースバルブを時計回りにしっかり回して閉じます。
5. ラムがワークピースに近づくまでポンプします。
6. センターに負荷がかかる様にラムとワークピースを揃えます。
7. ハンドルをポンピングしてワークピースに負荷をかけます。ワークに過負荷をかけないで下さい。

8. 負荷を取り除いた後、不意にベッドから落ちない様にワークピースを安定させてから、リリースバルブを反時計回りに回してラムを引き込み、ワークピースを取り外します。



注意: リリースバルブを反時計回りに1回転以上回さないで下さい。

注意: ラムを保護する為に、ポンプが完全に伸縮した後は、ポンプの操作を続けしないで下さい。

注意: 人身傷害および/または物的損害のリスクを減らすために、各加圧アタッチメントの定格使用圧力が、当社が開発した油圧ポンプが定格使用圧力以上であることを確認して下さい。

9. 負荷を取り除いた後、ベッドから不注意に落下しないようにワークピースを安定させ、リリースバルブを反時計回りに回してラムを引き込み、ワークピースを取り外します。リリースバルブを反時計回りに1回転以上回さないで下さい。



注意: メーカーが提供するハンドルのみを使用して下さい。この製品に付属のハンドルは、ボトルジャッキのリリースバルブと安全に装着することができ、ハンドルスリーブを操作します。ハンドルが摩耗している、異常な動作している、又はリリースバルブに確実に噛み合わない場合は、純正のハンドルと交換するまで、ジャッキの使用を中止して下さい。



注意: 個別に取り付けられたポンプを備えたプレスとは異なり、このプレスのパワーユニットには圧力計を装備できない為、荷重の監視はロードセル / デジタルインジケータなどの他の手段で行う必要があります。どちらかが選択されても、負荷測定は毎年校正して下さい。



注意: この装置に装備されている油圧ユニットは、プレスとは独立したジャッキ装置としてではなく、このプレスの一体部品として使用することを目的としています。このプレスに付属の油圧パワーユニットを、本来の目的以外の目的に使用しないで下さい。

◆メンテナンス

ボトルジャッキのオイルの追加と交換

重要: 良質の油圧ジャッキオイルのみを使用して下さい。異なる種類のオイルの混合を避け、ブレーキ液、タービン油、トランスミッション液、モーター油、グリセリン等は絶対に使用しないで下さい。不適当な油圧オイルは、ジャッキの早期故障、および突然の負荷の即時損失の可能性を引き起こす可能性があります。

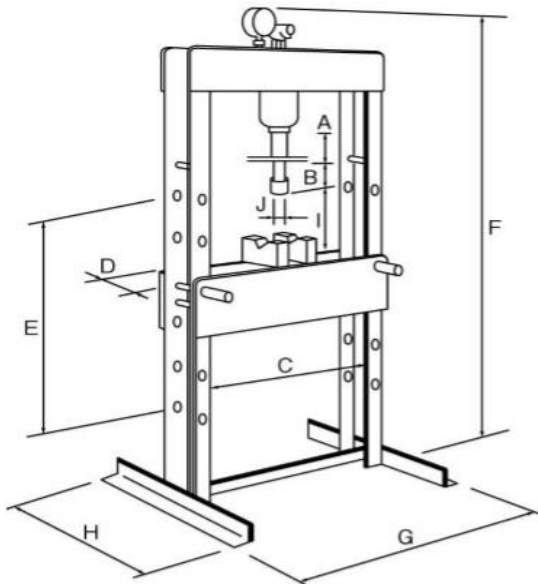
1. プレスフレームからジャッキを取り外します。
2. ラムを完全に下げ、ポンプピストンを完全に押し下げた状態で、ジャッキを水平位置に直立に置き、オイルフィルタープラグを取り外します。
3. 使用済みの油圧オイルを適切な容器に排出します。
注意: 現地の規制に従ってオイルを廃棄して下さい。
4. 油圧オイルがフィルタープラグの穴と同じレベルになる、またはフィルタープラグの穴のすぐ下まで充填します。
5. [油圧内のエア抜き]の排出/通気手順を実行します。

錆止め


定期的にラムとポンプのピストンに錆の兆候がないか確認して下さい。
必要に応じて、糸くずの出ない油が染み込んだ布で拭いて下さい。

症状	考えられる原因	是正処置
・ラムが負荷を押さない	・リリースバルブがきつく締まっていない ・過負荷状態	・リリースバルブがきつく締まっている事を確認する ・過負荷を軽減する
・ラムからにじみ出る	・リリースバルブがきつく締まっていない ・ラムの故障	・リリースバルブがきつく締まっている事を確認する ・カスタマーサポートに連絡する
・荷を下した後、ラムが下らない	・油圧オイルの入れすぎ ・ラムの故障	・適切なレベルまで油圧オイルを排出します ・可動部品の清掃と注油
・パワーがない	・油圧オイルレベルが低い ・回路に空気が閉じ込められた	・適切な油圧オイルを補充する ・油圧内のエア抜きをする
・ラムが完全に伸びない	・油圧オイルが少ない	・適切に油圧オイルを足しレベルを確保する
・ラムから油圧オイルが漏れる	・ラムの故障	・サービスに出す

(寸法図)



サイズ	EA993BV-10
A	110mm
B	76mm
C	416mm
D	68mm
E	806mm
F	1500mm
G×H	580×470mm
I	134~940mm
J	35mm

 改造はしないでください。
・本機の寿命を著しく損ねる場合があります。
・ご使用者が怪我をする場合があります。
・作業工程に支障を来たす場合があります。

株式会社 エスコ
本社 / 〒550-0012 大阪市西区立売堀3-8-14
TEL (06)6532-6226 FAX (06)6541-0929

19.Dec